

<p>学校関係者評価を実施した 主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内見学及び授業参観への参加 ・令和4年度学校概要 ・各部（小学部、中学部、高等部）の教育について ・学校運営上の諸課題について ・令和4年度学校評価アンケート結果について
<p>自己評価結果について</p>	<p>令和3年度のアンケートで、保護者の理解が不十分と判明した「特別支援教育のセンター的機能」「医療や福祉の関係機関との連携」の項目に、具体例を付け加えて実施した。「個に合わせた指導」「授業の工夫」「児童生徒の学校への期待感」「担任との連携」の項目において評価が高かった。令和4年度の校内研究をとおして教員が個に応じた指導を深め、学びの場を広げる実践をしてきたことや、コロナ対策を講じた上で校外学習を積極的に行ってきたこと、保護者との懇談の実施等が奏功したと思われる。</p> <p>しかし、「センター的機能の充実」「進路情報等の提供」「関係機関との連携の取組」「保護者のニーズを取り入れたPTA活動」の項目は、「よく当てはまる」の回答が他の項目と比較して少なかったり、「まったく当てはまらない」の回答が見られたりして、評価が低かった。</p>
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路情報等の提供については、令和4年4月のPTA総会時に進路説明会を実施したり、令和4年度の小学部主事との懇談において進路指導主事から情報提供したりして、進路について保護者に考えていただく機会を設けた。今後も保護者が知りたい進路情報を提供する場を設けていきたい。 ・センター的機能の充実については、評価項目に具体例を加えたことにより、逆に低評価となった。PTA総会等の場で、本校が行っている要請訪問相談や障害乳幼児相談について説明し、地域支援において本校が果たす役割を説明していきたい。 ・関係機関との連携は昨年度よりも評価が高まってきているので、刈谷豊田総合病院や事業所等、外部機関との連携を進めるとともに、取組をホームページなどで積極的に紹介し、さらに保護者理解を得られるようにしたい。
<p>その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、子どもたちのために一生懸命に指導・支援している。卒業後を見据えて、学校としてどういう子ども達を育てたいか、目指す子ども像明確にし、着実に目標を達成していけるとよい。 ・医療的ケアが充実しているが、学校生活と卒業後の生活にギャップが大きく、保護者の心配があると思う。心配が軽減できるように、卒業後の支援を行えるとよい。18歳になると制度やサービスが変わり、保護者の戸惑いも多い。要望があれば、説明に行く。
<p>学校関係者評価委員会の構成 及び評価時期</p>	<p>学校関係者評価委員会の構成 … 学校評議員6名、校長、教頭、総括事務長、部主事 評価時期 … 学校評価計画（5月下旬） ・年間評価（2月下旬）</p>